

関連項目：教育活動プラン①、②

縦割り活動等を通して自己表現ができる場や自主的に判断し行動する力を身につける

目的

本校の児童は素直な子が多く、学年を超えて仲良く遊んでいる。しかし、小規模校の特性から互いに高め合おうとする意欲が弱く、自主的に活動する意欲に乏しいところがある。そこで、縦割り（なかよしグループ）による活動を通し、自主性や自己表現力を身につけることができるようにした。

内容

①なかよしグループ活動

○ 全校生84名を運動面で差が出ないようにしたり男女の比率に違いが出ないように配慮したりして6つのグループに分けます。このグループで児童集会や昼休みに行くなかよしグループ遊び、なかよし水泳大会などを行います。

・なかよし遠足

なかよしグループで学校から公洲公園まで歩いて行き、児童会が中心となってゲーム大会やオリエンテーションをします。昼食までの自由時間には6年生が下級生の面倒をみたり注意をしたりして楽しい時間を過ごします。グループでの昼食はみんなと仲良く食べ親睦の輪をさらに深める場となっています。

・なかよし水泳大会

6年生を中心に出場する種目を決めます。それぞれの泳力を考えながらだれがどの種目に出場するかを決めます。また、全員リレーの順番もみんなと話し合っ決めて決めます。どの児童も自分の出たい種目をリーダーに伝えます。リーダーはそれぞれの意見を考えながら調整します。

②全校児童の前で発表

○ 全校児童の前でがんばることを発表したり毎月の生活目標を頑張っていた子を発表したりします。1年間に1回は全校生の前で発表する機会を作り、自己表現をする場を設定しています。また、不定期ではありますが、1日を振り返り友達が手助けをしてくれたことなどを文章にして表現し掲示板に張ることで感謝の気持ちを持つことや他者を認める気持ちを育む場ととらえて実施している。



自己紹介



春の遠足



頑張った子の紹介



ありがとうの木

成果

なかよしグループ活動では、6年生を中心にグループのメンバーが協力していろいろな活動を行うことで互いに認め合ったり助け合ったりする姿が見られるようになってきた。なかよし水泳大会では、個々の力に合わせた種目を話し合いの中で選択することで意欲的に活動することができていた。また、全校朝会などでの発表は、自分の頑張りたいことや友達のよさなどをしっかりと発表することができるようになってきた。しかし、まだまだ十分とは言えないところも多々あるので、これからもいろいろな取り組みを通して自主性や自己表現力を身につけさせたい。